

## 第 8 回臨床ストレス応答学会大会プログラム

一般 口頭発表 <発表 8 分+質疑応答 3 分, 合計 11 分>

若手研究奨励賞候補者 口頭発表 <発表のみ 7 分>

ポスター発表 <発表 3 分+質疑応答 7 分, 合計 10 分>

11 月 15 日 (金)

9:50-10:00 開会挨拶 (大会長:樋口京一)

10:00-11:17 若手研究奨励賞候補者 口頭発表

進行係:森 政之 (信州大学大学院医学系研究科)

- 01 酸化ストレス下における truncated SRSF3 タンパク質のインターロイキン 8 発現調節機構  
狩野静香、西田憲生、赤池瑤子、藤田絹代、佐竹 讓、桑野由紀、六反一仁  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
- 02 酵素処理アスパラガス抽出物の睡眠の質に与える影響  
前田哲宏、高成 準、西岡 浩、若命浩二  
株式会社アミノアップ化学 研究部
- 03 Heat shock protein 阻害剤が内在性抗原提示に与える影響  
山崎千尋、山下奈穂子、梶原千晶、加藤 悠、松本 彩、水上修作、榮川伸吾、鶴殿平一郎  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科免疫学分野、他
- 04 DNA polymerase  $\eta$  と HSP90 の相互作用解析  
羽賀愛沙美、岡本知也、畠山詩織、黒澤友翼、三瓶 杏、西 聡美、菅原 卓、南條 博、伊藤英晃  
秋田大学大学院工学資源学研究所生命科学専攻、他
- 05 アドレノメデュリン-RAMP2 システムは、小胞体ストレス誘導性細胞死を抑制し、腎保護的に働く  
植竹龍一、桜井敬之、神吉昭子、河手久香、新藤優佳、鳥山佑一、山内啓弘、五十嵐恭子、田中 愛、  
柳田素子、新藤隆行  
信州大学大学院医学系研究科疾患予防医科学系専攻循環病態学講座、他
- 06 腫瘍に高発現する酸化酵素 ERO1- $\alpha$  は、抗腫瘍免疫応答を抑制する  
田中 努、田村保明、久木田和晴、梶原敏充、鳥越俊彦、岡本芳晴、佐藤昇志  
札幌医科大学医学部病理学第一講座、他
- 07 がん幹細胞において高い活性化を示す HSF1 遺伝子は、がん治療ターゲットとなる可能性を有する  
安田和世、鳥越俊彦、廣橋良彦、金関貴幸、佐藤昇志  
札幌医科大学医学部病理学第一講座、他
- 08 p62/Sqstm1 欠損は中枢におけるレプチン抵抗性により過食を引き起こす  
藤 栄治、石井哲郎、正田純一  
筑波大学医学医療系
- 09 もやもや病関連タンパク質 mysterin による zebrafish の発生制御  
小谷友理、森戸大介、山崎 悟、高島成二、平田普三、永田和宏  
京都産業大学工学研究科 永田和宏研究室
- 10 Hsp40 の細胞間伝播によるタンパク質恒常性 (プロテオスターシス) の維持機構  
武内敏秀、藤掛伸宏、鈴木マリ、ポピエル明子、菊地寿枝、和田圭司、永井義隆  
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所、他
- 11 ストレス誘導性 RNA ヘリカーゼ YTHDC2 の機能解析  
滝崎 浩、田辺 敦、谷川賢弥、常富麻衣、池田拓人、高井香里、佐原弘益  
麻布大学獣医学部基礎教育研究室・生物学

休憩 13 分

11 : 30-12 : 14 セッション 1 ストレス耐性

座長：海野けい子（静岡県立大学薬学部生物薬品化学分野）  
藤田 潤（京都大学大学院医学研究科分子病診療学）

- 12 還元型コエンザイムQ10による加齢疾患抑制メカニズムの解明  
田 耕、澤下仁子、久保博司、西尾信哉、橋本繁成、鈴木伸嘉、吉村豪兼、王 耀勇、森 政之、  
細江和典、北野光昭、竹田俊男、宇佐美真一、樋口京一  
信州大学大学院医学系研究科加齢生物学講座、他
- 13 ほ乳類低温ショックタンパク質 Cirp は皮膚創傷治癒を促進する  
藤田 潤、東辻久子、東辻宏明  
京都大学大学院医学研究科分子病診療学
- 14 テアニン摂取によるストレス軽減：実務実習の学生における検討  
海野けい子、石井直人、谷田直輝、原 文音、井口和明、山本博之、武田厚司、小澤隼人、  
大久保勉、ジュネジャ レカ・ラジュ、星野 稔、山田 浩  
静岡県立大学薬学部生物薬品化学分野、他
- 15 Neuropeptide Yは酸化ストレス耐性に関与しカロリー制限による寿命延長作用に重要である  
千葉卓哉、下川 功  
早稲田大学人間科学学術院基礎老化学、他

休憩 16 分

12 : 30-13 : 30 ランチョンセミナー〈株式会社カネカ共催〉

座長：能勢 博（信州大学大学院医学系研究科スポーツ医科学）

「還元型コエンザイム Q10 (Ubiquinol-10) の老化抑制効果の検討とその作用機構の解明」

樋口京一 先生

信州大学大学院医学系研究科疾患予防医科学系加齢生物学

休憩 5 分

13 : 35-15 : 25 若手研究奨励賞候補者 ポスター発表

座長：久保田広志（秋田大学工学資源学研究所生命科学専攻）  
鳥越俊彦（札幌医科大学医学部病理学第一講座）

発表者番号 01-11

15 : 30-16 : 30 特別講演 1

座長：永田和宏（京都産業大学総合生命科学部生命システム学科）

「小胞体ストレスの解析-薬物惹起から生理・病理へ」

森 和俊 先生

京都大学大学院理学研究科生物物理学・ゲノム情報分野

休憩 15 分

16 : 45-18 : 45 シンポジウム 1 細胞ストレス応答の分子機構と疾患病態

座長：一條秀憲（東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室）  
六反一仁（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部）

「小胞体ストレスによる細胞のリプログラミングと分化誘導 ～糸球体傷害をモデルにして～」

北村正敬 先生

山梨大学大学院医学工学総合研究部分子情報伝達学

「酸化ストレスによる発がん機構の解明」

豊國伸哉 先生

名古屋大学大学院医学系研究科病理病態学講座生体反応病理学

「暑熱馴化による血液量増加は熱中症を予防する」

上條義一郎 先生

信州大学大学院医学系研究科疾患予防医科学系スポーツ医科学

「熱ショック応答の分子機構」

中井 彰 先生

山口大学大学院医学系研究科医化学分野

19 : 00-21 : 00 懇親会

11月16日(土)

8 : 30-9 : 25 セッション2 ストレス応答と病態

座長：青江知彦（千葉大学大学院医学研究院麻酔科学）

大塚健三（中部大学応用生物学部 環境生物科学科）

16 Clinically amyopathic dermatomyositis (CADM)の有用な予後予測因子としての血清IL-6値  
奈良瑞穂、小松田敦、涌井秀樹、澤田賢一  
秋田大学大学院医学系研究科血液・腎・膠原病内科、他

17 冷えストレスによって誘発される排尿筋過活動の機序解明の試み  
今村哲也、石塚 修、小川輝之、皆川倫範、横山 仁、山岸貴裕、中沢昌樹、西澤 理  
信州大学医学部下部尿路医学講座、他

18 筋萎縮性側索硬化症原因タンパク質SOD1変異体のリソソーム依存的分解  
田村 拓、山田大介、久保田広志  
秋田大学工学資源学研究科生命科学専攻

19 化学シャペロンによるオピオイド耐性形成の抑制  
青江知彦  
千葉大学大学院医学研究院麻酔科学

20 マウス老化アミロイド(AApoAII)の沈着は小胞体ストレスを誘導する  
羅 宏敏、澤下仁子、田 耕、森 政之、樋口京一  
信州大学医学系研究科疾患予防医科学系加齢生物学講座

9 : 30-10 : 14 セッション3 ストレス応答機構

座長：養王田正文（東京農工大学工学研究院生命工学）

佐原弘益（麻布大学獣医学部基礎教育研究室・生物学）

21 グループII型シャペロンにおけるリング間協調作用機構の解明  
山本陽平、石井則行、関口博史、佐々木裕次、養王田正文  
東京農工大院・工・生命工、他

- 22 酵母HSP遺伝子の転写において転写メディエータTailモジュールの必要性はHSE配列によって決定される  
松尾由美、林 靖志、橋川成美、橋川直也  
岡山理科大学大学院理学研究科
- 23 Homeodomain interacting protein kinase 2 (HIPK2) はクロマチン構成因子heterochromatin protein 1  $\gamma$  (HP1 $\gamma$ ) をリン酸化し、トリメチル化ヒストンH3 Lys9への結合を阻害する  
西田憲生、赤池瑤子、増田清士、佐竹 讓、藤田絹代、狩野静香、桑野由紀、六反一仁  
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ストレス制御医学分野
- 24 新規Hsp40/DNAJファミリーメンバータンパク質であるDNAJB8の癌幹細胞の機能維持  
楠本浩貴、西澤 哲、廣橋良彦、鳥越俊彦、佐藤昇志、原 勲  
札幌医科大学病理学第一講座、他

休憩 16 分

10 : 30-11 : 30 **特別講演 2**

座長：伊藤英晃（秋田大学大学院工学資源学研究所生命科学専攻）

「ミトコンドリアストレスとユビキチン・プロテアソームシステム」

田中啓二 先生

東京都医学総合研究所

11 : 30-12 : 00 評議員会、総会

12 : 00-13 : 30 昼食

13 : 30-15 : 30 **シンポジウム 2 アミロイドーシスとストレス応答**

座長：中山 淳（信州大学大学院医学系研究科疾患予防医科学分子病理学）

永井義隆（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所）

「小胞体関連分解によるトランスサイレチンアミロイドーシスに対する自己防御機構と病態に基づいた新規治療法の開発」

関島良樹 先生

信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科

「細胞外シャペロンによるアミロイド線維形成抑制機構の解明」

小澤大作 先生

福井大学テニユアトラック推進本部

「フェノール化合物に焦点をあてたアルツハイマー病の予防・治療薬開発」

小野賢二郎 先生

金沢大学附属病院神経内科

「神経変性疾患の細胞病理を形成する蛋白質のプリオン様特性」

長谷川成人 先生

東京都医学総合研究所認知症・高次脳機能研究分野

15 : 30 閉会挨拶（学会長：伊藤英晃）